



県議会公明党ニュース

発行：公明党広島県議会議員団 担当者：栗原俊二

住所：広島市中区基町10-52 連絡先：☎082-513-4660 ✉s-kurihara@gikai.pref.hiroshima.jp

2016年 秋号

<皆さまのご意見ご要望をお聞かせください。>

栗原俊二議員が6月定例県議会本会議で一般質問

広島県議会は6月定例会を6月13日から21日までの9日間の会期で開きました。6月16日には県議会公明党の栗原俊二議員(広島市安佐南区)が、県政の諸課題について一般質問を行いました。

- ①平和の取り組みについて
- ②グローバルリーダー育成校について
- ③サッカースタジアムについて
- ④高齢者の運転免許証更新等について
- ⑤飲酒運転根絶の取り組みについて
- ⑥再犯防止対策の充実強化について
- ⑦若者の政策形成過程への参画について
- ⑧高校教育に係る県教委の方針について
 - ・高校生の運転免許取得
 - ・県立高校における携帯電話の取り扱い
- ⑨がん教育の推進について



一問一答方式で質問する栗原俊二議員(本会議場にて)

今回の定例会では「平成二十八年度広島県一般会計補正予算」や「広島県県営住宅設置、整備及び管理条例の一部を改正する条例」、「防災・減災対策の強化を求める意見書」などの議案について審議を行い、21議案について原案の通り可決、同意並びに承認しました。

最終日には議長選挙、副議長選挙、常任委員会、議会運営委員会委員の選任を行ったほか、6つの特別委員会を設置しました。

新たな議長、副議長紹介 第65代議長 宇田 伸 第106代副議長 高山博洲

新たな常任委員会・特別委員会の構成(県議会公明党のみ紹介)

議員名	選挙区	常任委員会	特別委員会
栗原俊二	広島市安佐南区	文 教	少子化・次世代育成対策
日下美香	広島市中区	警察・商工労働	安心な環境づくり対策
田川寿一	広島市西区	農 林 水 産	地方創生・行財政対策
下西幸雄	呉 市	生活福祉保健	地域魅力向上対策
尾熊良一	福 山 市	総 務	産業競争力強化対策
石津正啓	福 山 市	建 設	広域・国際観光振興対策



瀬戸内を海から楽しもう!——新たな観光振興を提案

県の支援を受けて、14年にスタートしたのが、広島市の広島観音マリーナを起点に展開する「瀬戸内満喫 ボートクルージングin広島湾」。これはチャーターボートに船長が同乗し、広島湾内のクルージングスポットを案内してもらえるプラン。気軽にクルージングを楽しめるので、さながら“海の貸し切り観光バス”だ。「釣船」のイメージが強いチャーターボートを瀬戸内海周遊のツールとして活かしている。世界遺産の厳島神社を海上から見学するプランや、戦艦「大和」が建造された呉港で海上から造船所や海上自衛隊の施設を見学するプラン、免許がない人でも広島湾内の安全な場所で操船体験ができるプランなどが人気だという。広島県内には、小型の船舶を一時的に係留できる「ビジター桟橋」や「海の駅」が19カ所あり、その数は全国最多。県議会で小型船を活用した観光振興や海の駅の充実を訴えてきた栗原俊二議員は、「小単位で瀬戸内海を巡るプレジャーボートの旅は、新たな観光需要の創造につながる。後押ししていきたい」と話している。



再犯防止強化へ

関係者と懇談

●2月29日



公明党広島県議団は、県庁で県社会福祉士会から同会が運営する県地域生活定着支援センターの事業内容などについて説明を受けた。同センターは、刑務所などの矯正施設を出所した高齢者や障がい者が適切な福祉サービスを受けるための手助けを行い、自立を支援している。万引きや無銭飲食を重ね、刑務所を行き来する「累犯障がい者」について、「早い段階で支援すれば刑務所に行かずに済んだはずの人が多く」とのこと。栗原俊二議員は、再犯防止対策の強化は重要だとの認識を示し、さっそく6月議会一般質問で対策強化を訴えた。

介護保険の制度改正で

現場の声聞く

●12月16日



公明党広島県議団は、広島市の日本基準寝具株式会社本社で、介護保険給付の対象となっている福祉用具の貸与などについて要望を受けた。同社関係者は、国の財政制度等審議会の財政制度分科会が公表した福祉用具の貸与を原則自己負担とする介護保険の制度改正案について、「福祉用具が利用できなくなった人の重度化を招きかねない」との懸念を示し、「現場の実情に合った制度改正が重要だ」と訴えた。栗原俊二議員は「現場の声をしっかりと聞き、国会議員とも連携していく」と応じた。

産後ケア事業など

助産施設訪れ実情聞く

●5月23日



妊娠から出産、育児を支援する広島市安佐南区の「たから助産院」を視察。同院は広島県助産師会が昨年11月に開業。広島市の産後ケア事業を受託しており、条件を満たした生後8週未満の子どもの母親を対象に、助産師が沐浴などの育児指導を実施。母親の体力回復に向けたケアも行う。また、県から不妊相談事業を受託し、電話やメール、面談などによる無料相談に応じており、「どこに相談したらいいかわからない」という不安の声に応えている。栗原俊二議員は「妊娠から育児まで一貫したサポートが受けられる施設は重要で、今後とも支援に力を入れたい」と意欲を示した。

砂防ダム工事現場を視察

●8月10日



広島市土砂災害から2年。災害発生直後から復興に全力を挙げてきた栗原俊二議員は、安佐北区可部東で県が整備した砂防ダムを視察しました。被災後、国は直ちに砂防ダム整備の緊急事業に取りかかり、今年6月末までに22基の事業が完了。残る3基のうちの2基も完成のめどが立ち、未着工は1基のみとなった。また、県も災害を受けて7カ所でダム整備を進め、今年3月までに全て完了した。「ダムに付帯する設備の工事は今後も続く。住民の皆さんが一日も早く安心できるよう、今後も国・県・市が連携して取り組みたい。」と栗原俊二議員は語った。

県庁内に保育施設を開設

県と企業が共同で

●3月2日



公明党広島県議団は3月2日、県庁内にオープンした保育所「イクちゃんち」を視察した。県と広島銀行が共同で開設した事業所内保育施設で、県と広島銀行の職員のほか、地域住民の子どもも預かる。定員は18人。施設内の床や、はりには県産の木材が活用され、落ち着いた雰囲気。調理室も備え、食育にも力を入れる。県は「イクちゃんち」をモデルケースとして、県内の企業に保育施設の設置を促していく考え。栗原俊二議員は「行政が保育環境の整備に積極的に取り組む姿勢を示すことは重要。今後も働く女性をサポートしていきたい」と語る。